



## **第3次**

## **相生市地域創生**

## **総合戦略**



## 第1章 戦略目標

本市における第3次地域創生総合戦略は、国における「デジタル田園都市国家構想総合戦略」、「地方創生2.0の基本的な考え方」、第3期兵庫県地域創生戦略などを踏まえつつ、本市の地域資源を最大限に活用しながら、第1次総合戦略から子育て世代をターゲットとして展開している子育て・教育施策及び定住促進施策を進めるとともに、地域経済の活性化を図り、誰もが便利で快適に暮らせるまちの実現のため、以下の4つの戦略目標を定め推進します。

また、各戦略目標の達成のために、デジタルなどの新しい技術や考え方を導入することで、地域創生の深化・加速化を図ります。

### ■第3次総合戦略の戦略目標



戦略目標 1 子育て応援のまち相生 ～自然増対策～



戦略目標 2 住みたい、帰りたいまち相生 ～社会増対策～



戦略目標 3 働く人の希望が叶うまち相生 ～産業活性化～



戦略目標 4 安全・安心で住み続けられるまち相生 ～元気づくり～

## 第2章 戦略目標別施策

### 戦略目標 1 子育て応援のまち相生 ～自然増対策～



#### 基本方針

地域で安心して希望をもって、子どもを産み育てられるように、結婚から出産・子育て期に応じた切れ目のないきめ細やかな支援を行います。

また、地域全体で子育てを応援できる地域づくりを推進します。

数値目標	基準値（令和2）	目標値（令和12）
合計特殊出生率	1.5	1.8

※基準値は令和2年国勢調査の結果を基に算出しています。

#### 施策1 パパママ支援

子育て世代の経済的な負担軽減及び育児不安・ストレスに悩むパパ・ママへの相談体制を充実させることによって、出産・子育ての希望を叶え、出生数を維持し、人口減少の抑制を図ります。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
出生数	129人	153人
子育てアプリの登録者数	709人	1,244人

#### 関係する基本施策（主な事業）

- |       |               |                   |
|-------|---------------|-------------------|
| 3-3-1 | 子育て環境の充実      | （特定不妊治療費等補助事業 など） |
| 3-3-2 | 子どもの健やかな発育の支援 | （子育て学習活動推進事業 など）  |
| 4-1-1 | 安定した社会保障制度の推進 | （こども医療費助成事業 など）   |

## 施策2 子どもたちの成長応援

子どもたちの生活の場、遊び場の確保など、子どもたちが心身ともに健全に成長でき豊かな生活を送れる環境づくりを推進します。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
保育所の待機児童数	11人	0人
関係する基本施策（主な事業）		
1-1-1 学びの環境の充実	（放課後児童保育事業 など）	
3-3-1 子育て環境の充実	（子育て家庭支援訪問事業 など）	
3-3-2 子どもの健やかな発育の支援	（保育所等運営事業 など）	
5-1-2 安心な住環境の保全	（公園施設維持管理事業 など）	

## 施策3 地域の子育て応援

子育てを終えた経験豊かな市民、事業者及び地域が、協働して地域全体で子育てを応援する地域づくりを進めます。また、子育て世代同士がつながる場の提供やネットワークの構築を支援します。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
地域子育て支援拠点の利用者数	7,828人	5,850人
関係する基本施策（主な事業）		
3-3-1 子育て環境の充実	（妊婦健康診査等補助事業 など）	
3-3-2 子どもの健やかな発育の支援	（子育て学習活動推進事業 など）	

## 戦略目標2

## 住みたい、帰りたいまち相生 ～社会増対策～



### 基本方針

本市からの転出抑制を図ることと併せて、転入者数を増やすため、各種定住施策を充実させます。また、移住・定住・二地域居住希望者に対する情報発信及び相談体制の推進を図り、本市への人の流れを創ります。

さらに、教育環境は定住先を検討する上で重要視されていることから、本市ならではの特色を活かした英語教育の更なる充実を図るなど、子どもたちの将来に幸せを贈れるように幼児期から中学校卒業までを見通した特色ある教育環境づくりを進め、教育立市を目指します。

数値目標	基準値（令和6）	目標値（令和12）
社会増減数	△37人	△28人

### 施策1 あいおい暮らしサポート

定住・移住を検討している人をサポートするために、各種助成を行うとともに、移住・定住相談会の開催など移住・定住・二地域居住希望者の積極的な呼び込みを行います。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
移住・定住相談件数	69件	77件
空き家バンクの物件登録件数	25件	43件

#### 関係する基本施策（主な事業）

- |       |                |                |
|-------|----------------|----------------|
| 4-2-1 | 安心して生活できる環境の整備 | （空家等対策事業 など）   |
| 6-1-1 | 定住の促進と関係人口の拡大  | （定住・移住相談事業 など） |

## 施策2 子どもたちの未来を創るあいの教育

幼児一人ひとりの特性に応じた保育・幼児教育の充実を図ります。

また、基礎・基本の定着などの学力向上に向けた教育施策を行いながら、グローバル化、情報技術の急速な発達など社会の変化への対応力などを育成するため、本市の特色を活かした取り組みを行います。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合	54.7%	60%
関係する基本施策（主な事業）		
1-1-1 学びの環境の充実	（相生っ子学び塾事業 など）	
1-1-2 知・徳・体の調和のとれた人材の育成	（学校給食運営事業 など）	

## 施策3 あいおいプロモーション

交通の利便性、豊かな自然環境、住みよい生活環境など本市の良さを知ってもらい、魅力を感じてもらえるように、市内外に効果的に発信するシティプロモーション活動を推進し、定住人口・関係人口の拡大に努めます。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
HP閲覧者数	662,708件	730,000件
関係する基本施策（主な事業）		
4-2-4 地域資源を活かした観光の振興	（ふるさと応援大使活用事業 など）	
6-1-1 定住の促進と関係人口の拡大	（シティプロモーション事業 など）	

### 戦略目標3

## 働く人の希望が叶うまち相生 ～産業活性化～



### 基本方針

播磨圏域連携中枢都市圏全体で経済成長を目指すとともに、企業、事業者の支援、創業の促進などにより、魅力ある地域産業づくりに取り組みながら、新たな雇用の創出など安心して働ける環境づくりを推進します。また、企業誘致を促進するための基盤整備に取り組みます。

また、本市の豊かな自然、歴史・文化などの地域資源を活用した観光振興を推進するとともににぎわいの創出と交流人口の増加を図ることにより、市内経済の活性化を図ります。

数値目標	基準値（令和3）	目標値（令和12）
市内事業所従業者数	12,157人	12,250人

※基準値は令和3年経済センサスの結果を基に算出しています。

### 施策1 魅力ある産業づくり

商工会議所及び連携中枢都市と連携し創業支援などに取り組み、様々な業種の企業・事業者が挑戦しやすいような環境づくりを行います。また、新たな企業立地促進に向けた土地利用を検討します。それらにより相生らしさあふれるビジネスの創出を図ります。

また、若い世代をはじめとする市内在住者、Uターン希望者などが安心して市内企業で働けるように環境整備支援を行います。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
新規創業者数	21件（累計）	32件（累計）
支援策を受けて就職した人数	5人（累計）	15人（累計）

#### 関係する基本施策（主な事業）

4-2-3	まちなぎわいの創出	（商店街空き店舗等活用事業 など）
5-1-1	快適な都市機能の維持	（土地利用規制等対策事業 など）
6-1-1	定住の促進と関係人口の拡大	（企業立地促進事業 など）

## 施策2 農水産業の活性化

本市の農水産業を活性化し、持続可能な発展のため、県など関係機関と連携し、生産性の向上と担い手の確保などに取り組みます。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
新規就農者数	3人（累計）	5人（累計）
農業産出額	4.2億円	4.2億円
関係する基本施策（主な事業）		
5-2-1 農林水産業の持続的発展	（夢ある農村づくり推進事業 など）	

※農業産出額基準値は令和5年農林業センサスの結果を基に算出しています。

## 施策3 地域資源を活用した観光振興

交通の利便性に加え、自然、文化、特産品など本市の有する地域資源を活用しながら、本市独自の観光振興に取り組むとともに、広域観光を推進します。また、あいおい情報ラウンジ、道の駅・海の駅あいおい白龍城などを活用した情報発信を推進します。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
観光客数	548,337人	600,000人
市内宿泊施設利用者数	107,606人	116,000人
関係する基本施策（主な事業）		
4-2-4 地域資源を活かした観光の振興	（相生ペーロン祭事業 など）	

## 戦略目標4

安全・安心で住み続けられるまち相生 ～元気づくり～



### 基本方針

年齢を問わず誰もが安心して暮らせる持続可能な定住性の高いまちを目指すため、災害に強いまちづくりの推進やデジタル・新技術を活用する基盤を構築することで、地域の人をつなぐ仕組みをつくり、いつまでも健康で快適に暮らせるよう環境を整備するなど生活環境の充実を目指します。

また、多様な人材の活躍やSDGsなど新たな時代の要請にも適切に対応したまちづくりを推進します。

数値目標	基準値（令和6）	目標値（令和12）
相生市に住み続けたいと思う人の割合	65.9%	71%

### 施策1 安全・安心に暮らせるまちづくり

災害などに対する備えを充実させるとともに、地域の防犯灯・防犯カメラの設置を促進することにより、全ての市民が安全・安心して暮らせるまちづくりを推進します。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
刑法犯認知件数	121件	80件
災害に対する備えは十分であると思う人の割合	40.1%	47%

#### 関係する基本施策（主な事業）

- 2-1-1 安心して暮らせるまちづくりの推進（地域防犯設備設置補助金交付事業 など）
- 2-1-2 防災力の強化（防災事業 など）
- 4-2-2 市民の協働によるまちづくりの推進（消費者行政推進事業 など）

## 施策2 健康長寿なまちづくり

住み慣れたまちで、生きがいを持っていつまでも健康で暮らせるように、健康づくりの環境整備などに取り組みます。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
健康寿命	男 79.8歳 女 84.2歳	男 80.2歳 女 84.6歳

### 関係する基本施策（主な事業）

1-2-1 社会教育環境の充実	（高齢者教育事業 など）
3-4-2 健康づくりと予防対策の推進	（健康増進事業 など）
3-5-1 日常生活支援の充実	（高年クラブ等社会活動促進事業 など）
3-5-2 地域包括ケアの推進	（介護予防普及啓発事業 など）

## 施策3 社会の変化に対応した暮らしやすいまちづくり

持続可能で快適なまち、SDGsの達成を目指し官民連携に取り組みます。誰もが地域活動に積極的に参加し、交流及び助け合いが促進できるような絆のあるコミュニティ形成を促進します。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（令和6）	目標値（令和12）
相生市への移住のお勧め度：NPS	-73	-63

### 関係する基本施策（主な事業）

3-1-1 地域福祉活動の充実	（社会福祉協議会活動事業 など）
4-2-1 安心して生活できる環境の整備	（生活交通システム事業 など）
4-2-2 市民の協働によるまちづくりの推進	（地域自治支援事業 など）
4-3-1 豊かな自然環境の保全	（環境施策関連事業 など）
6-1-1 定住の促進と関係人口の拡大	（国際交流事業 など）

※NPSは、市民アンケート結果を基にした本市への移住のおすすめ度を-100~100の間で表す指標で、数値が高いほどおすすめ度が高くなります。





# 資料編

# 1 諮問書・答申書

## (1) 諮問書

諮問第4号

相生市総合計画等審議会

第6次相生市総合計画の改定及び第3次相生市地域創生総合戦略の策定について（諮問）

第6次相生市総合計画の改定及び第3次相生市地域創生総合戦略の策定について、相生市総合計画等審議会条例第2条の規定により諮問いたします。

令和7年3月21日

相生市長 谷口 芳紀

## (2) 答申書

令和7年7月4日

相生市長 谷口 芳紀 様

相生市総合計画等審議会

会長 小田切 康彦

第6次相生市総合計画について（答申）

第6次相生市総合計画の改定及び第3次相生市地域創生総合戦略の策定について、慎重に審議を重ねてまいりましたが、別添「第6次相生市総合計画（後期計画）（案）」のように審議会として意見がまとまりましたので、答申いたします。

本計画の推進に当たっては、より効率的・効果的な行政経営を念頭に置きながら、下記の事項に十分に配慮され、まちづくり目標である「いのち輝き 絆ひろがる あいのまち」の実現に向け、着実に取り組まれるよう要望します。

## 記

### 1 特色ある子育て支援の充実

本市の子育て支援策は、11の鍵事業を始めとして特色ある事業を国に先駆け実施してきたものの、社会経済状況等の影響により、子育て環境や子育て支援が十分であると感じている人が減ってきている状況です。

今後も、子育てしやすいまちづくりのため、子育て世代のニーズや課題を十分に把握し、特色ある子育て支援事業を実施していくことを求めます。

## 2 各種要綱

### (1) 相生市総合計画策定要綱

(制定)	昭和45年	8月13日	訓令第9号					
(改正)	昭和47年	6月5日	昭和57年	4月1日	平成13年	4月1日		
	昭和51年	1月20日	昭和59年	4月1日	平成20年	5月23日		
	昭和51年	4月1日	昭和61年	7月1日	平成23年	4月1日		
	昭和53年	4月1日	昭和63年	8月8日	平成26年	4月1日		
	昭和53年	4月26日	平成1年	1月23日	令和3年	3月15日		
	昭和55年	4月1日	平成12年	4月1日				

第1条 この要綱は、相生市総合計画策定に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2条 この要綱において「総合計画」とは、本市将来の健全な発展を図るため策定する市政の長期計画で、基本構想、基本計画、地域創生総合戦略及び実施計画からなるものとする。

#### (1) 基本構想

本市のまちづくりの基本目標を定め、目標を達成する基本的な考え方を示すものをいう。

#### (2) 基本計画

市政の長期的課題を明らかにし、市政について基本的方向を示すために策定する市政の基本計画をいう。

#### (3) 地域創生総合戦略

基本計画に掲げる基本的施策を横断的に示したもので地域創生の実現を推進するための計画をいう。

#### (4) 実施計画

基本計画に基づき、具体的な事業の実施について策定する計画をいう。

第3条 総合計画は、有機的連携をもつて能率的かつ合理的に推進されるべき道標となるよう策定しなければならない。

第4条 基本構想の策定期間は、令和3年度から令和12年度までとする。ただし、社会情勢等の推移により変更が必要となった場合には、社会情勢等に適合するよう修正するものとする。

第5条 基本計画の策定期間は、前期を基本構想の策定期間の前半5年間とし、後期を後半5年間とする。ただし、社会情勢等の推移により変更が必要となった場合には、社会情勢等に適合するよう修正するものとする。

第6条 総合戦略の策定期間は、前条の規定を準用する。

第7条 実施計画の策定期間は、3箇年とし、1年を経過するごとに検討を加え、さらに3箇年の計画として改定する。

第8条 各部長においては、別に定める合理的な施策及び基本的方針に基づき、基本計画案及び実施計画案を作成するものとする。

第9条 企画総務部長は、前項の規定により各部長が作成した基本計画案及び実施計画案を総合調整して原案を作成し、市長の決定をうけなければならない。

第10条 各課長は、所属に係る総合計画に関する事務を担当するものとする。

第11条 この訓令に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

## (2) 相生市総合計画策定会議設置要綱

(制定) 平成20年 5月23日 訓令第44号

(改正) 平成21年 4月 1日 平成26年 3月31日 令和 元年 6月28日

平成21年 4月21日 平成27年 7月 1日 令和 2年 4月 1日

平成22年 4月 1日 平成29年 3月31日 令和 3年 3月30日

平成24年 6月27日 平成30年 5月 1日 令和 6年 3月29日

平成25年 3月29日 平成31年 3月28日

### (設置)

第1条 相生市総合計画の策定に関し、相生市総合計画策定会議(以下「策定会議」という。)を設置する。

### (所掌事務)

第2条 策定会議の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 計画の策定に係る重要事項の調査及び審議に関すること。
- (2) 計画の策定に関し、関係各部間の総合的調整に関すること。
- (3) 計画の策定に必要な資料の調整に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、計画の策定に関し、必要な事項に関すること。

### (組織及び運営)

第3条 策定会議は、相生市庁議規程(昭和51年訓令第6号。以下「庁議規程」という。)第2条第1項に掲げる職にある者をもって構成し、その運営にあたっては、庁議規程の例による。

### (意見の聴取)

第4条 策定会議は、必要に応じて関係行政機関、学識経験者、有識者等から意見を聴取することができる。

### (企画員会議)

第5条 策定会議に企画員会議を置く。

- 2 企画員会議に企画員を置き、企画員は別表第1に定める職にある者をもって充てる。
- 3 企画員会議は、企画総務部長が招集し、企画広報課長が議長となる。

### (企画員会議の所掌事務)

第6条 企画員会議の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 計画策定に関する企画立案及び連絡調整に関すること。
- (2) 前号の企画立案に関し、必要な実施状況及び進捗状況の報告に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、必要な事項に関すること。

### (検討チーム)

第7条 策定会議に検討チームを置くことができる。

- 2 検討チームは、別表第2に掲げる者をもって構成するものとする。

### (検討チームの所掌事項)

第8条 検討チームの所掌事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 計画策定に関する企画立案に関すること。
- (2) 前号の企画立案に関し、必要な資料の収集及び調査に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、必要な事項に関すること。

(庶務)

第9条 策定会議及び企画員会議の庶務は企画広報課で、検討チームの庶務は各チーム長の指名する構成員において処理する。

(補則)

第10条 この訓令に定めるもののほか、必要な事項は市長が別に定める。

別表第1…企画広報課長、総務課長、財政課長、徴収対策室長、市民課長、地域振興課長、社会福祉課長、子育て元気課長、都市整備課長、農林水産課長、管理課長、学校教育課長、生涯学習課長

別表第2…

検討チーム名	チーム長	構成員
企画総務	企画総務部長	企画総務部所属課長、係長及びチーム長が指名する者
財務	財務部長	財務部所属課長、係長及びチーム長が指名する者
市民生活	市民生活部長	市民生活部所属課長、係長及びチーム長が指名する者
健康福祉	健康福祉部長	健康福祉部所属課長、係長及びチーム長が指名する者
建設農林	建設農林部長	建設農林部所属課長、係長及びチーム長が指名する者
教育委員会	教育次長(管理担当)	教育委員会所属課長、係長及びチーム長が指名する者

### 3 相生市総合計画等審議会委員名簿

	氏名	肩書	選出区分
1	◎小田切 康彦	徳島大学 准教授	1号該当 (学識経験者)
2	○丸山 眞理子	関西福祉大学 准教授	1号該当 (学識経験者)
3	山本 渉	相生市連合自治会 副会長	2号該当 (団体選出)
4	薦田 弘幸	連合兵庫 西部地域協議会 副議長	2号該当 (団体選出)
5	下田 信治	相生市商工会議所 副会頭	2号該当 (団体選出)
6	大崎 正悟	P T A連絡協議会 会長	2号該当 (団体選出)
7	丸山 英男	相生市社会福祉協議会 会長	2号該当 (団体選出)
8	中谷 武弘	相生市観光協会 会長	2号該当 (団体選出)
9	清水 誠朗	相生市社会教育委員会 議長	2号該当 (団体選出)
10	鹿島 公子	公募	3号該当 (公募)
11	勝谷 公美子	公募	3号該当 (公募)
12	竹本 悦代	公募	3号該当 (公募)
13	古川 典子	公募	3号該当 (公募)
14	水上 昌史	西はりま消防組合 相生消防署長	4号該当 (～R7. 3.31)
	木村 雅司	西はりま消防組合 相生消防署長	4号該当 (R7.4.1～)
15	勢志 淳	みなと銀行相生支店 支店長	4号該当

※ ◎会長 ○副会長

## 4 策定経過

年月日	項目（内容等）
令和6年 6月3日	第1回策定会議（改定方針について）
8月22日	第2回策定会議（策定スケジュール、アンケート内容について）
9月16日 ～10月4日	アンケート調査実施
12月21日	二十歳のつどい実行委員会ワークショップ
令和7年 3月21日	第1回総合計画等審議会 （総合計画の改定、市民アンケート結果等について）
3月25日	子育て世代ワークショップ
4月1日	商工会議所ワークショップ
4月22日	第1回企画員会議（人口ビジョン検討ケース等について）
5月27日	第3回策定会議（計画案の検討）
6月25日	第2回総合計画等審議会 （第6次相生市総合計画（後期計画）（案）について）
7月4日	答申（審議会長より答申）

## 5 市民の意向

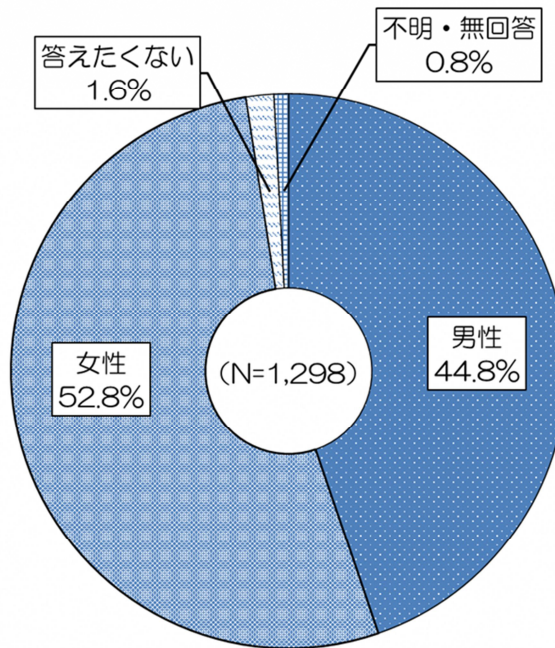
### (1) アンケート調査結果

「第6次相生市総合計画」の改定に向けて、相生市在住の18歳以上の方の中から年代を考慮して抽出した3,000人を対象に、ご意見・ご意向をお伺いし、計画の進行管理及び状況に合わせた見直しの参考とするためのアンケート調査を実施しました。

- 調査対象者：相生市に在住する18歳以上の市民
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：令和6年9月16日～10月4日
- 調査方法：郵送による配布・回収及びWebによる回答
- 回収結果：配布数3,000件／有効回収数1,298件／有効回収率43.3%

#### ◇性別

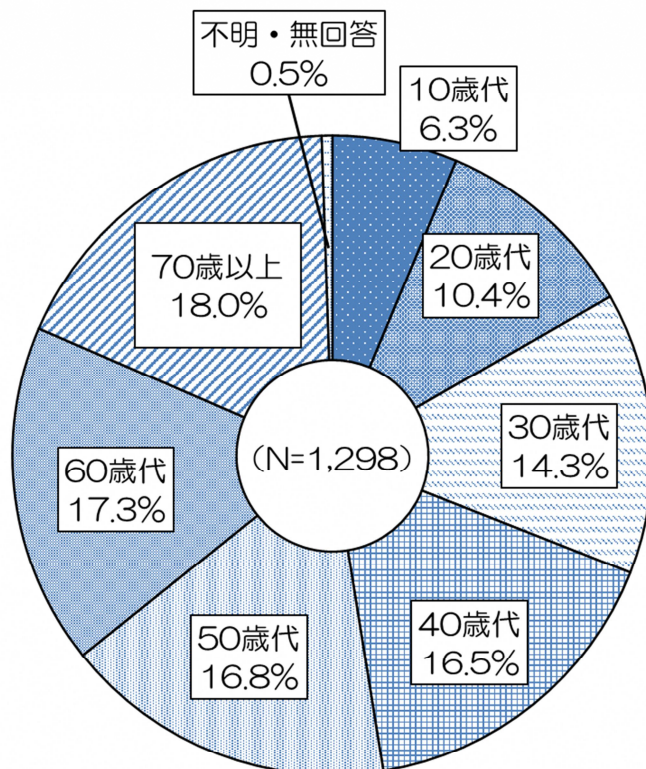
「男性」44.8%、「女性」52.8%、「答えたくない」1.6%、「不明・無回答」0.8%となっています。



項目	n	%
男性	581	44.8
女性	685	52.8
答えたくない	21	1.6
不明・無回答	11	0.8
総数【全体】	1,298	100.0

### ◇年齢

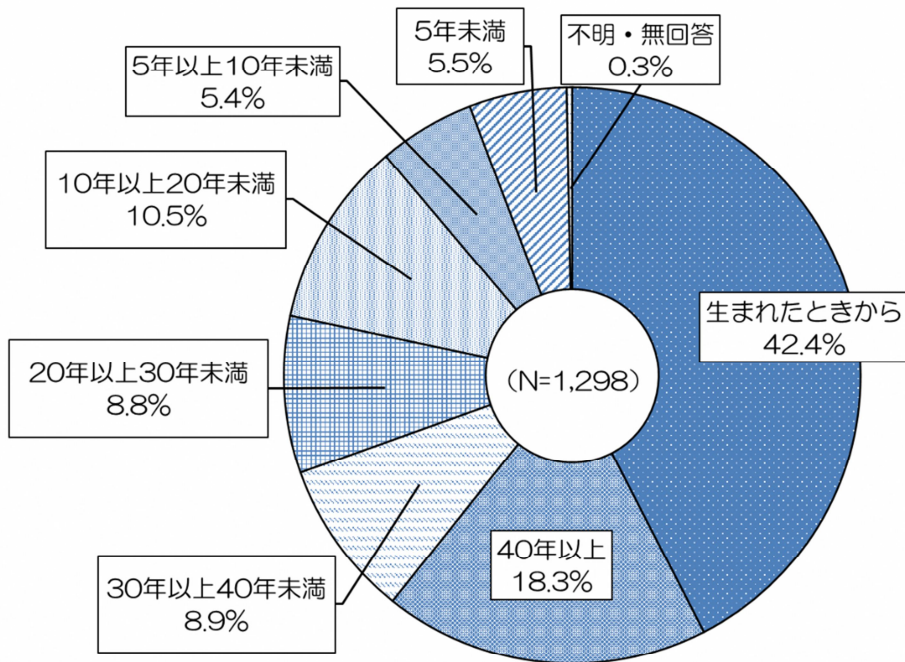
年齢については、「70歳以上」18.0%が最も多く、次いで「60歳代」17.3%、「50歳代」16.8%の順となっています。



項目	n	%
10歳代	82	6.3
20歳代	135	10.4
30歳代	185	14.3
40歳代	214	16.5
50歳代	218	16.8
60歳代	224	17.3
70歳以上	233	18.0
不明・無回答	7	0.5
総数【全体】	1,298	100.0

## ◇居住歴

居住歴については、「生まれたときから」42.4%が最も多くなっています。次いで、「40年以上」18.3%、「10年以上20年未満」10.5%、「30年以上40年未満」8.9%となっています。



項目	n	%
生まれたときから	551	42.4
40年以上	237	18.3
30年以上40年未満	115	8.9
20年以上30年未満	114	8.8
10年以上20年未満	136	10.5
5年以上10年未満	70	5.4
5年未満	71	5.5
不明・無回答	4	0.3
総数【全体】	1,298	100.0

## 【 NPS (Net Promoter Score) とは 】

NPSは顧客ロイヤルティ（企業に対する信頼や愛着の大きさ）や推奨の意向を測るための指標です。顧客に「あなたはこの商品・サービスをどの程度、友人や同僚に勧めますか？」というアンケート項目（質問）を投げかけます。

この質問に0～10の11段階で答えてもらった結果を数値化して求めます。

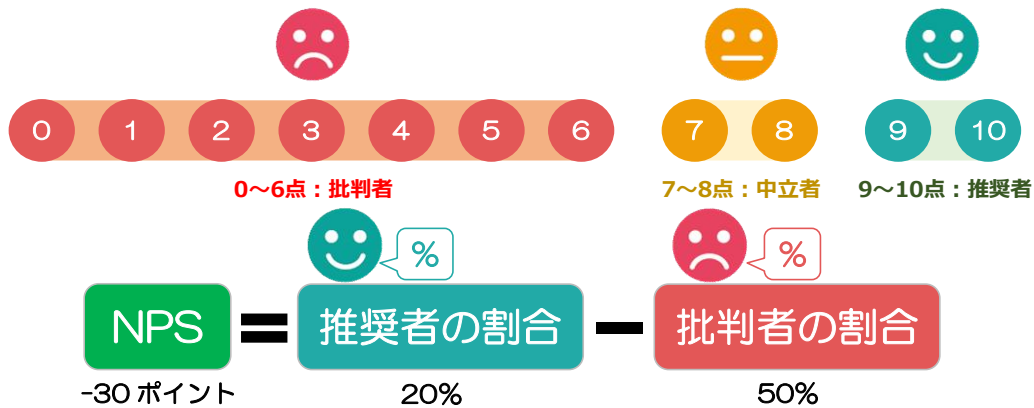
回答された数値によって、顧客を3グループ（批判者、中立者、推奨者）に分けます。

- 推奨者：9～10点の数値を答えた顧客。商品・サービスを愛用してくれ、周囲にも勧めてくれる層です。
- 中立者：7～8点の数値を答えた顧客。特に商品・サービスを周囲に勧めることもない代わりに、悪い口コミも広げませんが、何かのきっかけで競合の商品・サービスへ移りやすい層です。（NPSスコア計算には含めません。）
- 批判者：0～6点の数値を答えた顧客。商品・サービスに対する悪い口コミを広げる可能性の高い層です。

回答者全体に占める「推奨者」「中立者」「批判者」の割合を算出し、推奨者の割合（％）から批判者の割合（％）を引いた数値がNPSの値となり、-100～100の間で表されます。

例えば、100人中、「9～10点」の数値を答えた推奨者が20人、「0～6点」の数値を答えた批判者が50人だとすれば、NPS値は（推奨者20%－批判者50%＝-30ポイント）になります。

例：回答者（100人）、批判者（50人）、中立者（30人）、推奨者（20人）



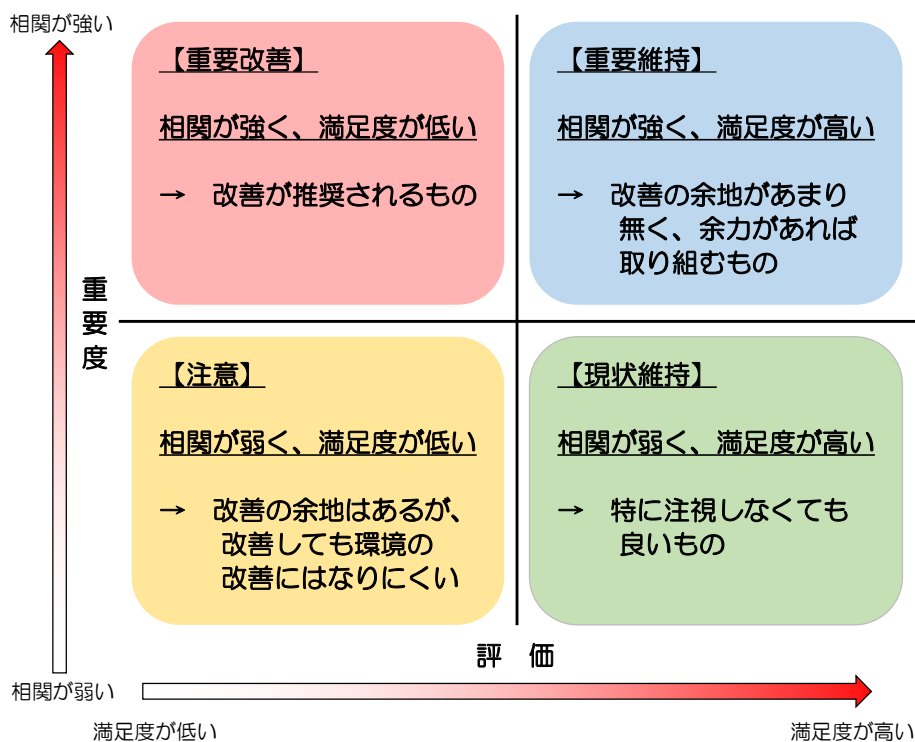
NPS調査において批判者が0～6点と広いのに対し、推奨者が9～10点に限られることに加え、日本人は、評価を行うようなアンケート調査で複数の選択肢がある場合、中間の選択肢を選ぶ傾向が見られます。これを「回答中心化傾向」といい、自分の意見を簡潔・率直に伝えるよりも、曖昧にぼかして伝えることで、相手に嫌われたり集団の中で浮いたりするのを避けようとするためだと考えられます。このため、日本の消費者を対象に調査したNPSはマイナスになることが多くなっています。

（参考：NPS 業界別ランキングトップ企業 2023 NTT コムオンラインによる）

- ・電力（西日本）部門 （第1位 NPS -39.9pt 業界平均：-53.1pt）
- ・都市ガス部門 （第1位 NPS -30.5pt 業界平均：-42.3pt）
- ・銀行部門 （第1位 NPS -16.7pt 業界平均：-42.7pt）

【4象限分析（キードライバー分析）について】

アンケートでお答えいただいた各要素の満足度と、推奨度（NPS）との相関値を算出し、散布図を作成します。縦軸を重要度（推奨度）、横軸を満足度とし、散布図内は「重要維持項目（右上）」「重要改善項目（左上）」「現状維持項目（右下）」「注意観察項目（左下）」に分類します。



【重要維持】：右上部分

この項目は、強みを表しています。強みは、満足度と推奨度に大きく影響するものです。

今現在、支持を得ており、さらにそれがリピートや、口コミ、友人や家族に勧める動機にもなっていることを示します。つまり、他と比較した場合に、選ばれている理由、強みがわかる項目といえます。今後も、この項目については重点的な維持が必要です。

【重要改善】：左上部分

推奨度との相関値は高いものの、与えている実際の満足度は低い部分、すなわち弱みに該当します。チャートのなかで、位置が左上に寄っているほど、緊急性が高い項目であるともいえます。少しの改善で、満足度が上がるポイントでもあるため、優先的な対策が必要です。

【注意】：左下部分

満足度への影響は小さいが、推奨度が低い項目です。優先度は下がりますが改善に努める必要がある項目です。

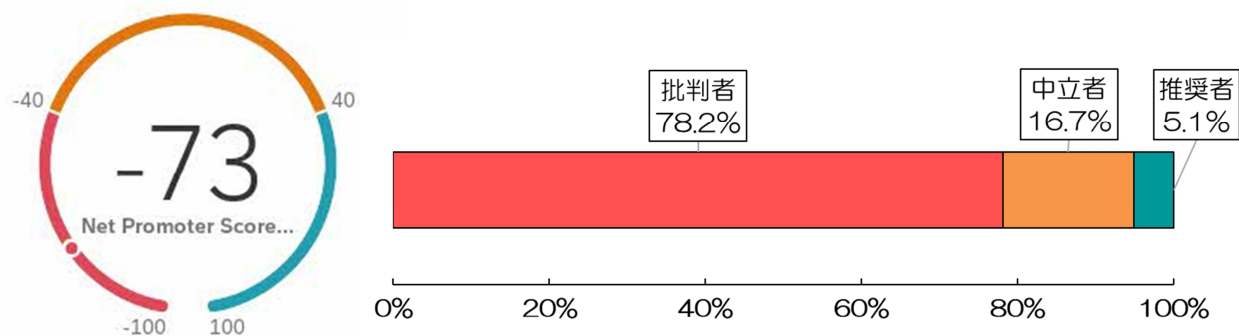
【現状維持】：右下部分

満足度は高いが、推奨度は高くない項目です。ただし、「満足できて当たり前」と認識している可能性もあります。優先度を下げた結果、満足度が落ちてしまうおそれもあるため、質を落とさないように維持することが必要です。

### ◇相生市への移住のお勧め

「批判者」の割合が78.2%、「中立者」の割合が16.7%、「推奨者」の割合が5.1%となっており、NPSスコアは-73です。

### ◆NPS（Net Promoter Score）分析の結果



- ・ 回答者（1273人）、批判者（995人）、中立者（213人）、推奨者（65人）
- ・ 推奨者の割合（5.1%）－批判者の割合（78.2%）＝NPS（-73.1%≒-73%）となります。

項目	n	%	分類	n	%
0点（まったく勧めない）	160	12.6	批判者	995	78.2
1点	62	4.9			
2点	91	7.1			
3点	173	13.6			
4点	78	6.1			
5点	331	26.0	中立者	213	16.7
6点	100	7.9			
7点	115	9.0			
8点	98	7.7	推奨者	65	5.1
9点	24	1.9			
10点（強く勧める）	41	3.2			
有効回答数	1,273	100.0	計	1,273	100.0
不明・無回答	25				
総数【全体】	1,298				

※0～10点の11段階評価で数値化する為、「不明・無回答」は含まない。

#### ◇ 4象限分析（キードライバー分析）の結果

「重要で評価が高い」のは、⑦「地域福祉活動が充実している」、⑧「不安感や負担感などを感じず、子育てができる環境である」、⑨「子育て支援サービスが充実している」⑫「快適に暮らせる住環境が整っている」、⑮「相生市に住み続けたいと思う」、⑯「十分な市民サービスが提供できる役所である」となっています。

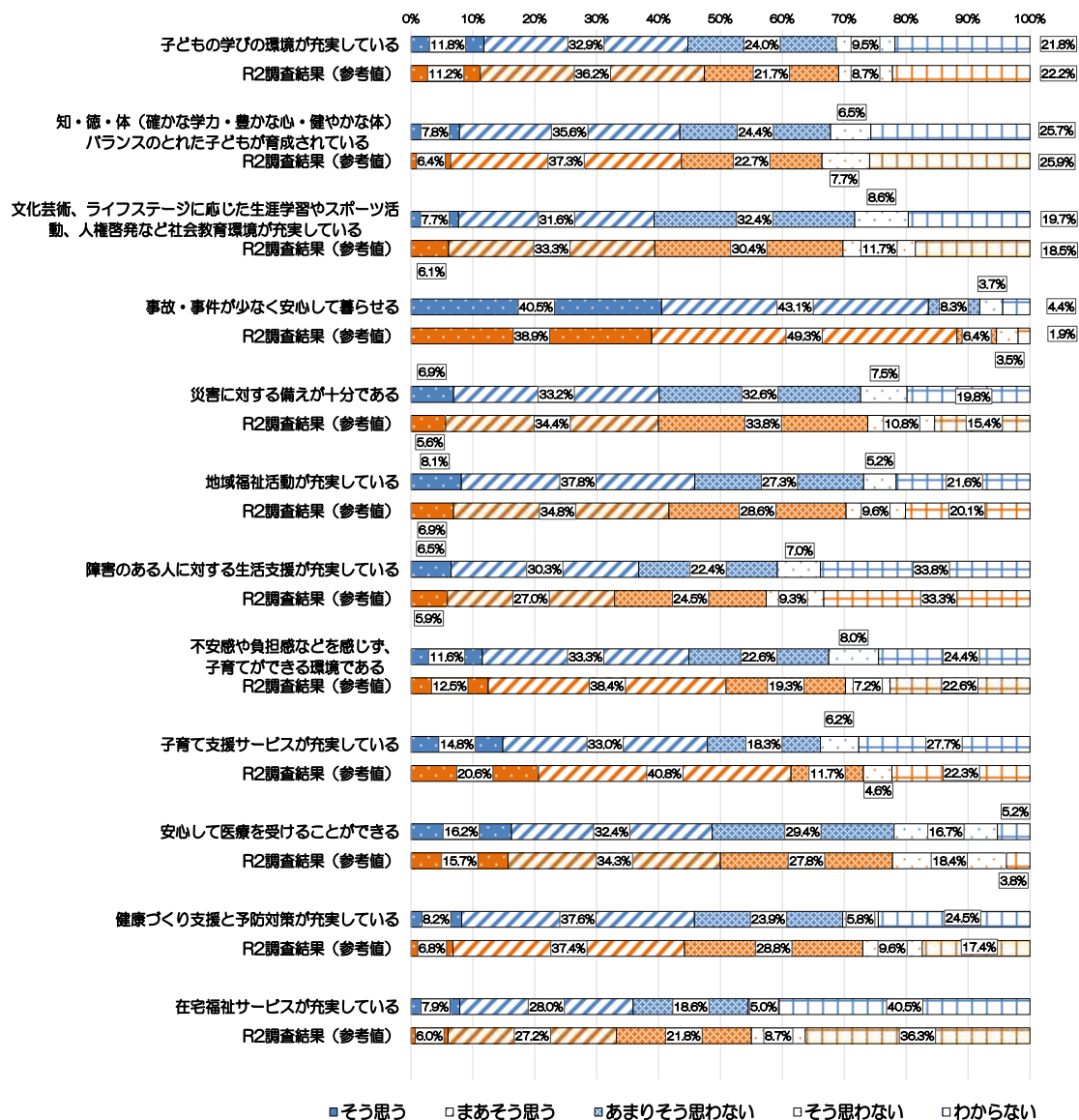


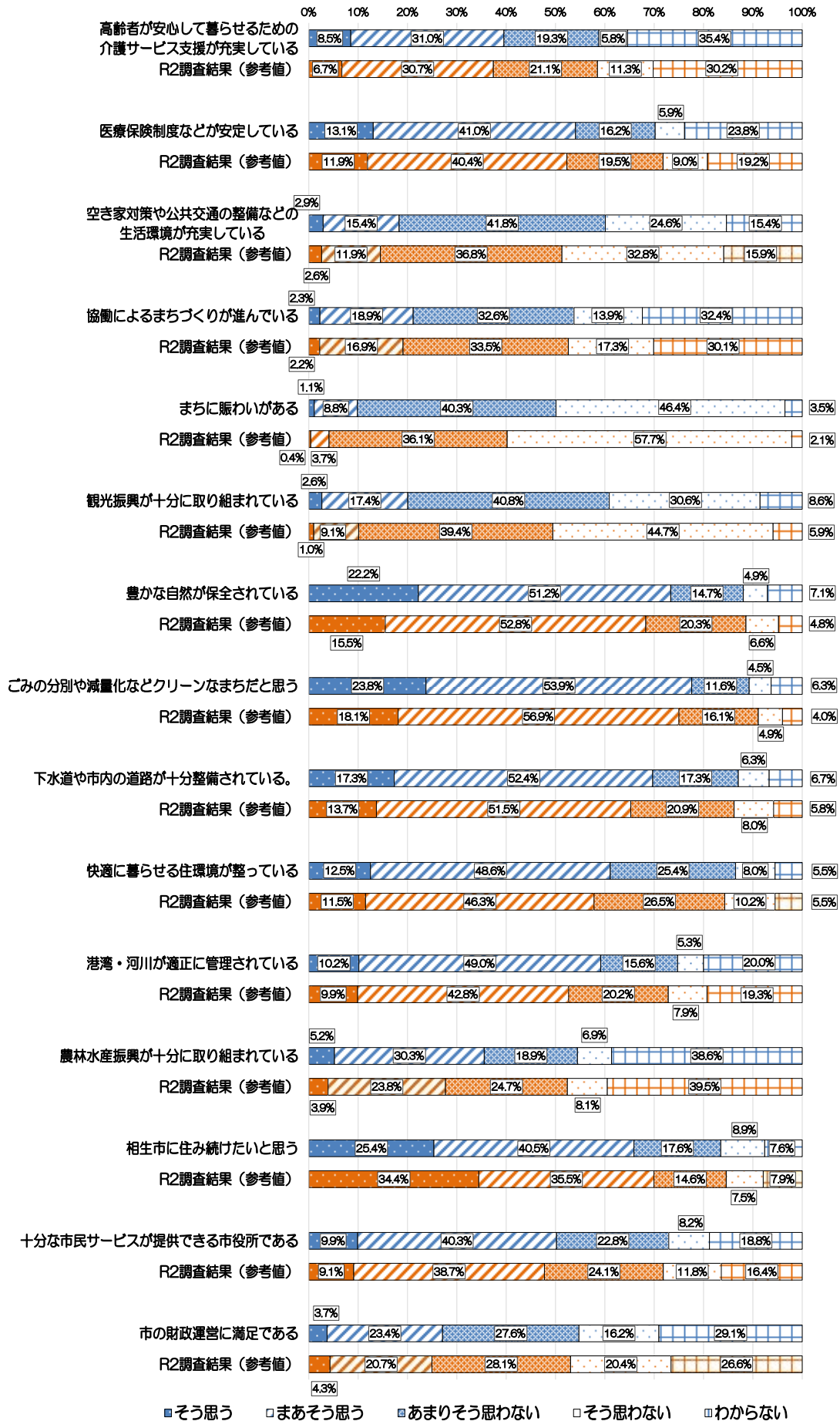
No.	設問	4象限
①	子どもの学びの環境が充実している	重要だが評価が低い
②	知・徳・体（確かな学力・豊かな心・健やかな体）バランスのとれた子どもが育成されている	重要だが評価が低い
③	文化芸術、ライフステージに応じた生涯学習やスポーツ活動、人権啓発など社会教育環境が充実している	重要だが評価が低い
④	事故・事件が少なく安心して暮らせる	重要でないが評価が高い
⑤	災害に対する備えが十分である	重要でないし評価も低い
⑥	障害のある人に対する生活支援が充実している	重要でないし評価も低い
⑦	地域福祉活動が充実している	重要で評価が高い
⑧	不安感や負担感などを感じず、子育てができる環境である	重要で評価が高い
⑨	子育て支援サービスが充実している	重要で評価が高い
⑩	安心して医療を受けることができる	重要でないし評価も低い
⑪	健康づくり支援と予防対策が充実している	重要でないが評価が高い
⑫	在宅福祉サービスが充実している	重要でないが評価が高い
⑬	高齢者が安心して暮らせるための介護サービス支援が充実している	重要でないが評価が高い
⑭	医療保険制度などが安定している	重要でないが評価が高い
⑮	空き家対策や公共交通の整備などの生活環境が充実している	重要でないし評価も低い
⑯	協働によるまちづくりが進んでいる	重要だが評価が低い
⑰	まちに賑わいがある	重要でないし評価も低い
⑱	観光振興が十分に取組まれている	重要でないし評価も低い
⑲	豊かな自然が保全されている	重要でないが評価が高い
⑳	ごみの分別や減量化などクリーンなまちだと思う	重要でないが評価が高い
㉑	下水道や市内の道路が十分整備されている	重要でないが評価が高い
㉒	快適に暮らせる住環境が整っている	重要で評価が高い
㉓	港湾・河川が適正に管理されている	重要でないが評価が高い
㉔	農林水産振興が十分に取組まれている	重要でないし評価も低い
㉕	相生市に住み続けたいと思う	重要で評価が高い
㉖	十分な市民サービスが提供できる市役所である	重要で評価が高い
㉗	市の財政運営に満足である	重要でないし評価も低い
㉘	文化に触れ、参画できる環境作りに満足している	重要でないし評価も低い
㉙	人権を尊重し、みんなで生きる社会づくりができています	重要だが評価が低い
㉚	いつでもどこでも学べる環境づくりに満足している	重要だが評価が低い
㉛	誰もが気軽に楽しめるスポーツが推進されている	重要でないし評価も低い
㉜	家庭・地域・学校が連携した健康な子どもの育成に満足している	重要だが評価が低い

## ◇めざそう値設定項目の市民満足度について

めざそう値設定項目について、「事故・事件が少なく安心して暮らせる」に対する「そう思う」「まあそう思う」の回答が83.6%で半数を超えており、最も満足度が高い項目となっています。次いで「ごみの分別や減量化などクリーンなまちだと思ふ」77.7%、「豊かな自然が保全されている」73.4%の順となっています。

「そう思わない」「あまりそう思わない」が最も多く、満足度が低い項目は「まちに賑わいがある」86.7%となっています。次いで「観光振興が十分に取組まれている」71.4%、「空き家対策や公共交通の整備などの生活環境が充実している」66.3%の順となっています。

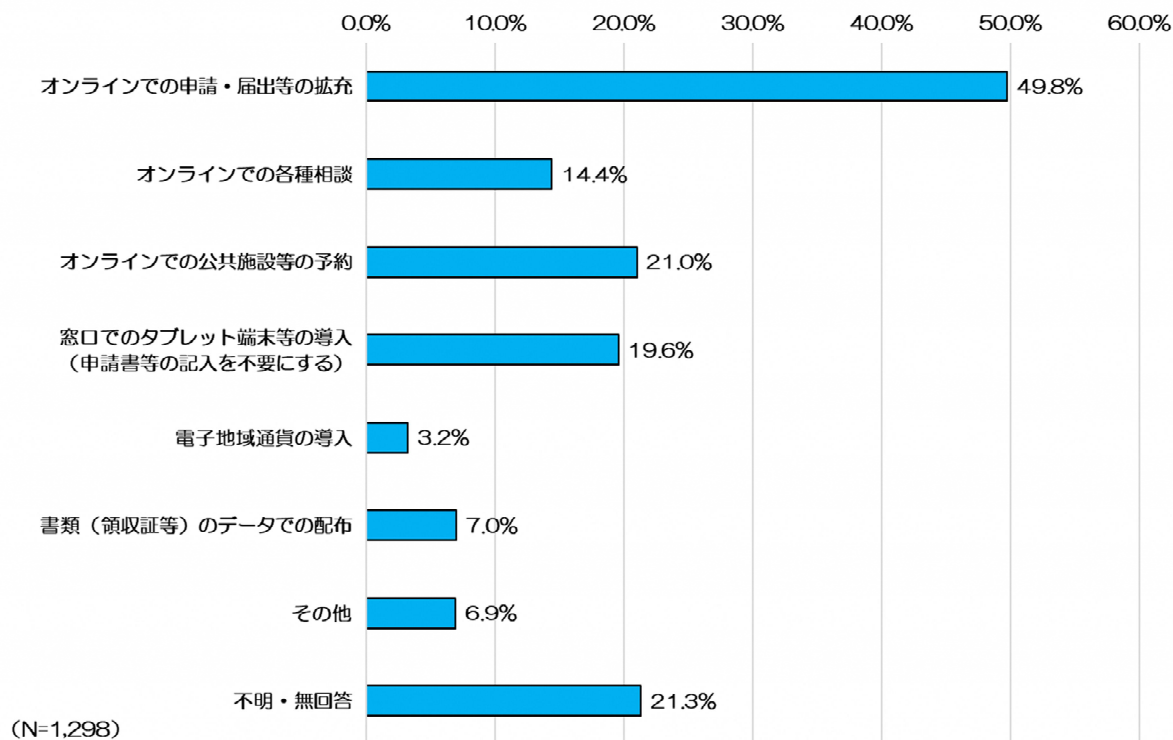




### ◇今後、相生市でデジタル化を期待する手続きやサービス

今後、相生市でデジタル化を期待する手続きやサービスについては、対象者のうち49.8%が「オンラインでの申請・届出等の拡充」を選択し、回答の割合が最も多くなっています。次いで「オンラインでの公共施設等の予約」21.0%、「窓口でのタブレット端末等の導入(申請書等の記入を不要にする)」19.6%の順となっています。

その他の意見は、「使い方がわからない」「正直お年寄りには難しいと思う」等となっています。

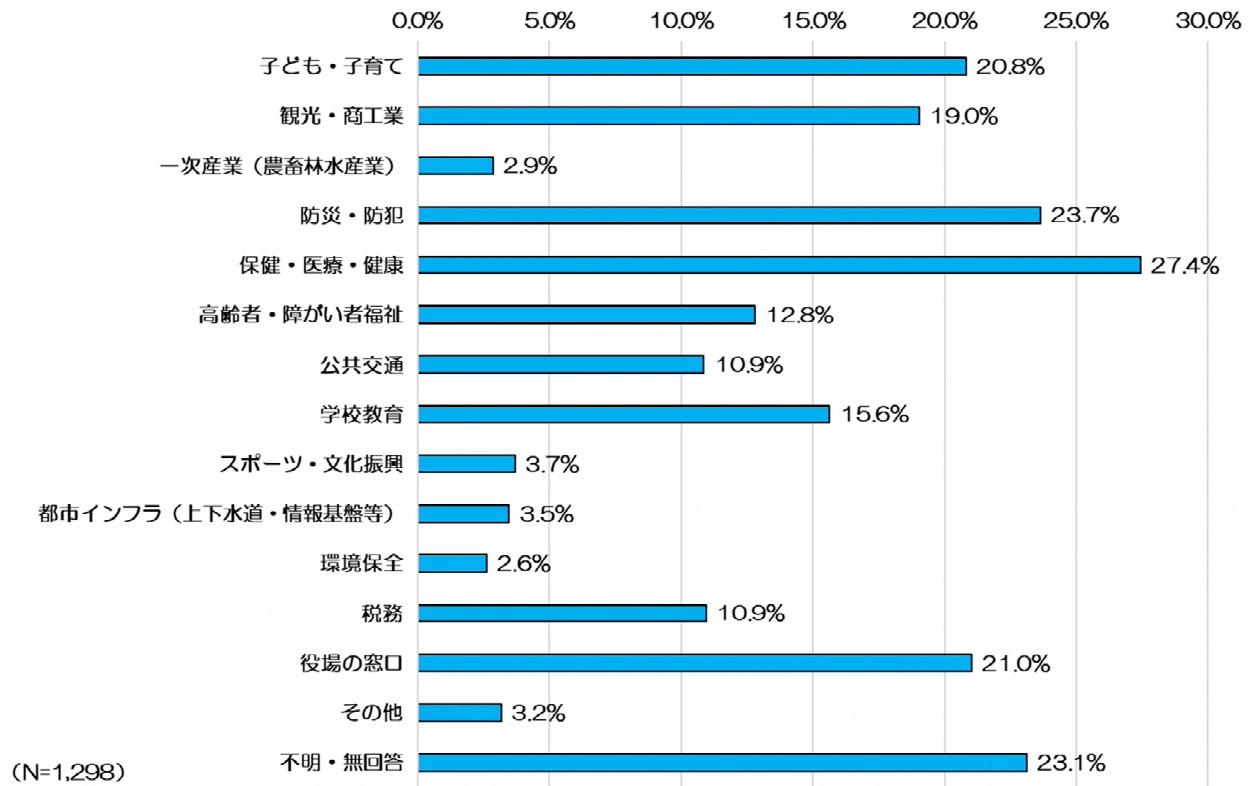


※複数回答のため合計が100%にならない。

項目	n	%
オンラインでの申請・届出等の拡充	646	49.8%
オンラインでの各種相談	187	14.4%
オンラインでの公共施設等の予約	273	21.0%
窓口でのタブレット端末等の導入 (申請書等の記入を不要にする)	254	19.6%
電子地域通貨の導入	42	3.2%
書類(領収証等)のデータでの配布	91	7.0%
その他	90	6.9%
不明・無回答	277	21.3%
計	1,860	-
総数【全体】	1,298	-

◇今後、相生市が進めるべきデジタル化の分野

今後、相生市が進めるべきデジタル化の分野については、対象者のうち27.4%が「保健・医療・健康」を選択し、回答の割合が最も多くなっています。次いで、「防災・防犯」23.7%の順となっています。その他の意見は、「自治会活動」、「必要ない」等となっています。



※複数回答のため合計が100%にならない。

項目	n	%	項目	n	%
子ども・子育て	270	20.8%	都市インフラ（上下水道・情報基盤等）	45	3.5%
観光・商工業	247	19.0%	環境保全	34	2.6%
一次産業（農畜林水産業）	37	2.9%	税務	142	10.9%
防災・防犯	307	23.7%	役場の窓口	273	21.0%
保健・医療・健康	356	27.4%	その他	41	3.2%
高齢者・障がい者福祉	166	12.8%	不明・無回答	300	23.1%
公共交通	141	10.9%	計	2,610	-
学校教育	203	15.6%	総数【全体】	1,298	-
スポーツ・文化振興	48	3.7%			

## (2) ワークショップ実施結果

第6次相生市総合計画の改定及び、第2次相生市地域創生総合戦略（令和3年度～令和7年度）を改定し、デジタル技術を活用した第3次相生市地域創生総合戦略を策定するにあたり、市民意向の反映及び市民参画を促進し、今後の方向性の検討に必要な意見を集約するために、関係団体に対してワークショップを実施しました。

### ① 二十歳のつどい実行委員会ワークショップ

- 実施日：令和6年 12月21日（土）
- 会場：扶桑電通なぎさホール 小ホール
- テーマ：10年後の最高の相生
- 参加者：二十歳のつどい実行委員会 8名

### ◇ワークショップの流れ

#### ① 総合計画の説明

総合計画の概要と、「第6次相生市総合計画」改定における本ワークショップの位置づけについてスライドにまとめ、参加者に説明を行いました。



#### ② グループワーク

3人一班に分かれ、各自が考える「10年後の最高の相生」を付箋に書き出しました。その後、意見交換を行い、各自が付箋に書き出した意見をグルーピングし、キャッチコピーを作成していただきました。



#### ③ 発表等

班ごとに、キャッチコピーを発表いただき、各班の意見を参加者全体で共有しました。

## 【まとめ】

ワークショップを行った結果をみると、参加者の二十歳の住民は、相生市が活性化して欲しいとの思いから、10年後の理想像として、若年層にとって魅力的であり、交流・定住人口が増加した活気に満ちた市の姿をイメージしていました。具体的には、「飲食店・娯楽施設・商業施設が拡充されている」、「労働環境が改善している」、「交通利便性が向上している」等が挙げられており、これらの実現に向けた課題は「若年人口の確保」であると考えていることが分かりました。

### ・「飲食店・娯楽施設・商業施設の拡充」について

各班で共通して、飲食店・娯楽施設・商業施設の拡充を求める声が多く挙がりました。特に、深夜営業している店舗やチェーン店の出店が望まれており、仕事終わり等に気軽に友人と集まれる施設が求められていることが分かりました。

### ・「労働環境の改善」

雇用の創出や賃金水準の向上を見込み、大企業・有名企業の誘致が望まれていました。また、社会人1~2年目の市民に対する補助を望む声もありました。

### ・「交通利便性の向上」

各班で「電車の本数の増加」が挙げられており、鉄道利用について不便を感じていることがわかりました。また、市外への通勤時に道路が混雑するため、道路を増やして欲しいといった意見もありました。

### ・課題：「若年人口の確保」

各班のキャッチコピーは、1班：「住み続けたい相生！」、2班：「＃自然界隈」、3班：「Many young come」となっており、いずれも、若年層の交流・定住人口が増加した、活気のある10年後の相生市をイメージしたものとなっています。

1班は、相生市で生まれた人が末永く住み続けて欲しいという思いから、まず、若者の人口の流出を抑えるため、ハード（大学の設置・就職先の充実）・ソフト両面（若い政治家の輩出・若者の意見を言える場の創出）での環境の整備が必要であると考えていました。

2班は、何をしても人が集まる場所にならないと始まらないという事で、どの様に人を集めるかを考えれば、若者はTikTok等のSNSで観光地の情報収集することから、相生市の強みである自然を前面に押し出してSNSを使って広報することが大切となりました。

3班は、「若者の企業」、「SNS活動」が必要であるとし、夜カフェなどの飲食店を若者が開業することで若者が集まり、SNSによる情報発信で、より多くの若者に相生市を知ってもらい、美味しい給食や綺麗な学校を維持することで子育て世帯へ魅力あるまちを発信し、若者が集まりやすい環境づくりや定住者の増加につなげる必要があると考えていました。

## 《1班》

# キャッチコピー：～住み続けたい相生！～

## —10年後の相生市—

### 施設

- ・ショッピングモールがある
- ・徒歩圏にコンビニができています
- ・バスケットコートがある
- ・緑がある公園ができています
- ・深夜営業の店ができています
- ・チェーン店のカラオケ屋ができています
- ・スポッチャができています
- ・ゲームセンターができています
- ・飲食店ができています
- ・チェーンのラーメン屋ができています
- ・駅前が栄えている

### 交通

- ・電車の本数が増えている
- ・ガソリン価格が下がっている
- ・中核都市等への道が増えている

### 子育て

- ・育休、有休が取りやすくなっている
- ・子供が増えている
- ・子育て支援が増えている

### 労働

- ・有名な企業の工場が多くできている
- ・就職先が充実している
- ・扶養控除が拡充されている
- ・賃金が上がっている
- ・女性の機会均等

### その他

- ・ペーロン等の様々なイベントが開催されている
- ・若い政治家の輩出
- ・若者の意見を言える場の創出



## 10年後の姿を実現するためには

- ・大学の設置、就職先の充実
- ・若い政治家の輩出、若者の意見を言える場の創出

## 《2班》

# キャッチコピー：～#自然界隈～

## —10年後の相生市—

### 産業

- ・ドームアリーナができています
- ・芸能（大手）事務所ができています
- ・大企業ができています
- ・スタバができています
- ・古民家カフェができています
- ・コンビニが増えています

### 観光

- ・うまいかをもっと売り出している
- ・アウトレットができています
- ・海水浴場を開設している
- ・グランピング施設ができています
- ・大きなテーマパークができています

### 公共

- ・交通機関タダになっている
- ・5分に1本電車がくる
- ・医療費無料になっている
- ・消費税が無くなっている

### 自然

- ・観光スポット（自然系）がある
- ・海がきれいになる

### 教育

- ・きれいで大きな図書館がある
- ・こどもたちがいっぱい
- ・スタディスペースがある

### その他

- ・毎月推しに会える！
- ・働かずに暮らせる
- ・一生好きな時間に起きられる

### 生活

- ・矢野に高層マンションができています

### 福祉

- ・高齢者向けの娯楽施設ができています



## 10年後の姿を実現するためには

- ・観光に力を入れることが大事
- ・自然
- ・若い人をSNSで集める（TikTok, Instagram）

## 《3班》

# キャッチコピー：～Many young come～

## —10年後の相生市—

### 飲食

- ・スタバができています
- ・ジョイフルができています
- ・焼肉キングができています
- ・24時間開いているお店が増えています
- ・コストコができています
- ・ポーリングができています
- ・魚べいができています
- ・夜カフェができています

### 交通

- ・電車の本数が増えている

### 学校

- ・給食メニューが改善されている

### お金

- ・年金がある
- ・最低賃金UP!している

### 施設建て替え

- ・市民病院が改築されている
- ・双中が新しくなっている
- ・双中1年のトイレが広がっている

### 補助

- ・社会人1～2年目補助が手厚くなっている
- ・おむつが無料配布されている
- ・シングルマザーへの支援が充実している

### 値下げ

- ・税金が下がっている
- ・ガソリンが安くなっている



## 10年後の姿を実現するためには

- ・若者の起業
- ・SNS活動

總論

基本構想

基本計画

第3次相生市地域創生総合戦略

資料編

## ② 子育て世代ワークショップ

- 実施日：令和7年 3月25日（火）
- 会場：子育て学習センター
- テーマ：10年後の最高の子育て環境
- 参加者：子育て学習センター利用者 14名

### ◇ワークショップの流れ

#### ① 総合計画の説明

総合計画の概要と、「第6次相生市総合計画」改定における本ワークショップの位置づけについてスライドにまとめ、参加者に説明を行いました。



#### ② グループワーク

2班に分かれ、各自が考える「10年後の最高の子育て環境」を付箋に書き出しました。その後、意見交換を行い、各自が付箋に書き出した意見をグルーピングし、キャッチコピーを作成していただきました。



#### ③ 発表等

班ごとに、キャッチコピーを発表いただき、各班の意見を参加者全体で共有しました。

## 【まとめ】

ワークショップを行った結果をみると、参加者の子育て学習センター利用者は、「10年後の最高の子育て環境」について共通する要素を挙げていましたが、重要視する要素や視点の違いから、各班で異なったイメージを形成していました。1班は、買い物環境の向上や、子育て支援の更なる充実等、利便性が向上した未来の子育て環境をイメージしている一方、2班は安全安心で気兼ねしない未来の子育て環境をイメージしていました。

### ・1班のイメージ

1班のキャッチコピーは「子育て世代が住みやすいキレイな相生」となっています。キャッチコピーの素となった要素のなかで、イメージが多かった項目は、「買い物」、「保育関係」、「医療費・病院」です。「買い物」については、「1軒で用事が済むようなショッピングモール」や、「大きいスーパー」、「ドライブスルーで少しだけの買い物が済ませる所」ができていいる等、買い物利便性が向上しているイメージを持っています。

「保育関係」については、「3歳児の預かり保育が来ている」、「兄弟で同じ保育園に入れる」、「保育園子ども園の増設」等、子育て支援が更に拡充しているイメージを持っています

「医療費・病院」については、「親子でみてくれる小児科が来ている」、「出産費がタダになっている」等、医療費の負担が減り、医療施設も今より充実しているイメージを持っています。

以上は、「大型商業施設の誘致」、「子育て世代が使いやすい医療施設」、「教育環境の改善」、「医療費（高額）の助成」といった課題に繋がっています。

### ・2班のイメージ

2班のキャッチコピーは「子どもと家族が安心して楽しめる相生市」となっています。キャッチコピーの素となった要素のなかでイメージが多かったのは、「遊び場」に関係する事柄です。

「安全・見守り」との関係で、土日、お父さんが休みの時に代わりに連れていけるような安心して遊べる施設が増えているというイメージが出てきました。

「イベント」との関係で、遊び場でのイベントが増え、子どもが参加できるイベント、毎週末子どもメインのイベントが開催されているイメージが出てきました。

「店舗」との関係では、キッズスペース等があり、子どもが大きな声を出しても親が気を使わなくてよい店舗や、オムツ替えや授乳に気を使わなくてもよい環境の店舗が増えているイメージが出てきました。

そのほか、学習環境や保育園に対するイメージも多く挙がりました。

以上は、「いつでも（雨天・土日祝）安心して遊べる場所」、「親子で行けるお店」、「気兼ねなく子育てできる（設備・気持ち（オムツ替え）」といった課題に繋がっています。

## 《1班》

# キャッチコピー：子育て世代が住みやすいキレイな相生

## —10年後の相生市—

### 買い物

- ・回転寿司ができています
- ・ファミレスができています
- ・ウーバーイーツが利用できています
- ・ジャスコができています
- ・ショッピングモールができています
- ・大きいスーパー（イオンモール・コストコ系）ができています
- ・ドライブスルーのあるお店ができています

### 保育関係

- ・必ず、兄弟が同じ保育園に通っている
- ・待機児童ゼロになっている
- ・女性が働きやすいように保育園・こども園が増えている
- ・3歳児の預かり保育ができています

### 医療費

- ・高額医療費もタダになっている
- ・出産費がタダになっている

### 病院

- ・皮膚科ができています
- ・小児科がもっとできています
- ・親子でみてくれる小児科ができています
- ・夜間救急ができています

### 習い事

- ・塾代、習い事の補助金ができています
- ・習い事の送迎支援ができています

### 公園

- ・近所にキレイな公園ができています
- ・オムツ台のある公園トイレが完備されている
- ・公園のトイレが清潔になっている
- ・駐車場のある公園ができています
- ・乳児が遊べる公園ができています（囲いのあるブランコやグラウンドの人工芝等）

### 応援券

- ・応援券の使える所が増えている（オムツなど）
- ・オムツ・ミルクなどのクーポン券ができています（相生市どこでも使える）

### 家

- ・空き家が減って更地になっている
- ・宅地にするための助成金ができています

### 自転車

- ・自転車の助成金ができています
- ・自転車の道が整備されている

## 《1 班》

### —10 年後の相生市—

#### その他

- ・ 土日も遊べる場所ができています
- ・ 屋内遊び場ができています
- ・ モールや広場にオムツや子どもご飯（離乳食）の販売機が設置されている
- ・ 市民体育館にごみ捨て場が増えている
- ・ 廃品回収がなくなり、各自で持ち込める回収場ができています
- ・ ペーロンの年長さんパレードがなくなっている
- ・ 中高生が遊べる所ができています（ゲームセンター・カラオケ等）



### 10 年後の姿を実現するためには

- ・ 世代ごとの意見の場の不足
- ・ 教育環境の改善
- ・ 事業計画の詳細の公表→実現する！させる！
- ・ 大型商業施設の誘致
- ・ 相生市内でお金を消費できるシステム作り
- ・ 子育て世代が使いやすい医療施設
- ・ 医療費（高額）の助成
- ・ 宅地（若い世代の定住化促進）

## 《2 班》

# キャッチコピー：子どもと家族が安心して楽しめる相生市

## — 10 年後の相生市 —

### 育休

- ・ 育休制度が充実している（一律3年取れる）
- ・ 母が子育てしながら社会に出やすい環境になっている
- ・ 育休が取りやすい環境になっている
- ・ 3才までは家で子どもと過ごせている

### 習い事

- ・ いろんな習い事がある
- ・ 習い事ができる場所が増えている

### 一時保育

- ・ 一時保育が利用しやすくなっている

### イベント

- ・ 毎週末、子供メインのイベントがある
- ・ 子ども参加型のイベントがたくさんある
- ・ 市内でも楽しめるイベントがある

### 学校・学習

- ・ 先生が大変じゃないけど、充実した部活がある
- ・ 少人数でもいろんな経験ができる学校になっている
- ・ 学習できる場所がある

### 病院

- ・ ママの病院へ子ども同伴がOKとなっている
- ・ 病児保育で預けられるところができている

### 店舗

- ・ 気軽に立ち寄れるC a f eなどができている
- ・ ママ友がしゃべり合える場がある
- ・ 子どもと食事をしやすいお店がたくさんできている

### 遊び場

- ・ ララポートのよう授乳室がきれいな施設が増えている
- ・ 遊ぶ所がたくさんできている
- ・ 絵本がたくさんある生活になっている
- ・ きれいな水遊び場ができている
- ・ すべり台やブランコなど、低年齢用のものが増えている
- ・ 天気が悪いときでも遊べる所ができている

### 保育園

- ・ 希望の保育園に入ることができている
- ・ 保育園・幼稚園が無償化になっている

## 《2班》

### —10年後の相生市—

#### 安全・見守り

- ・安全対策ができています（散歩中川沿いのガードレールをくぐりそうでこわい）
- ・一人で子育てに苦しむ人が減っている
- ・周囲が見守ってくれている

#### その他

- ・バランスのとれた献立を誰かが考えてくれている
- ・大学の学費が安い or 奨学金が使いやすくなっている
- ・100円バスができています
- ・物価が下がっている



### 10年後の姿を実現するためには

- ・いつでも（雨天・土日祝）安心して遊べる場所
- ・親子で行けるお店
- ・気兼ねなく子育てできる（設備・気持ち（オムツ替え））

### ③ 商工会議所ワークショップ

- 実施日：令和7年4月1日（火）
- 会場：総合福祉会館
- テーマ：10年後の最高の商い環境
- 参加者：商工会議所会員 11名

#### ◇ワークショップの流れ

##### ①総合計画の説明

総合計画の概要と、「第6次相生市総合計画」改定における本ワークショップの位置づけについてスライドにまとめ、参加者に説明を行いました。



##### ②グループワーク

3班に分かれ、各自が考える「10年後の最高の商い環境」を付箋に書き出しました。その後、意見交換を行い、各自が付箋に書き出した意見をグルーピングし、キャッチコピーを作成していただきました。



##### ③発表等

班ごとに、キャッチコピーを発表いただき、各班の意見を参加者全体で共有しました。

## 【まとめ】

各班のキャッチコピーは、1班：「個性集まるまち」、2班：「眠らない街 Aioi」、3班：「相生を楽しむ～ゆりかごから墓場まで～」となっており、参加者の商工会議所会員は、雇用の増進で企業が増え、交流・定住人口が増え、活気がある相生市の姿を、10年後の最高の商い環境としてイメージしていました。雇用増進に向けての出発点は各班で異なっており、1班は起業家、企業、労働者に対する環境の整備、2班は企業誘致、3班は観光の活性化となっていました。

### ・1班のイメージ

1班は、小学校から子どもにビジネス教育をするカリキュラムを確立する等の独自の教育環境の整備により、子育て世代を呼び込み、教育の結果、起業の活発化により雇用が創出されているイメージを持っていました。

また、企業にとっては拠点を設置しやすいまちであり、労働者にとっては、働き方の選択肢が多く誰もが担い手になれるまちとして環境が整備されているイメージを持っていました。

上記から、「多様な働き方が出来る環境 → 実現できる教育と後押ししてくれる行政」の実現を課題として捉えていました。

### ・2班のイメージ

2班は、ビジネスを軸として相生市に人が集まり活性化しているイメージを持っていました。企業誘致による雇用の確保から定住促進による人口増加をイメージしていました。さらに、人口の増加に伴う種々のニーズの受け皿として、商業・娯楽施設が充実し、仕事と子育ての両立ができる環境となっているイメージを持っていました。

上記から、「企業誘致」、「子育てしやすい環境作り」が課題であると考えていました。

### ・3班のイメージ

3班は、スポーツ等のイベント等を多く開催することで観光客が増え、商業が活性化しているイメージを持っていました。また、多くのイベント開催に耐えられるように、施設、交通環境が整備されることで、雇用が増え、相乗効果でさらに商業が賑わうイメージを持っていました。

さらには、小学校の頃から地元が好きになるような教育を実施することで、地元出身の商売人が増え、商業規模の拡大により発生したニーズを満たしているイメージがありました。

そのために、まずは「市民が相生市を好きになる」ことや、「魅力のある仕事」を課題として挙げていました。

## 《1班》

# キャッチコピー：個性集まるまち

## —10年後の相生市—

### 人口

- ・人口が増加している

### 働き方

- ・市役所職員も含め、空き時間での副業が可能になっている。

### インフラ

- ・市内全域でネットワーク利用が可能になっている
- ・病院ができています
- ・公共施設を格安で使えている（ビジネスコンテスト）

### 雇用

- ・誰もが担い手になれている
- ・高齢者に優しい町になっている
- ・大企業が来ている

### 教育

- ・子供に学校でビジネスを教えている
- ・株式投資の教育をしている
- ・フリースクールで一般人が講師をしている

### 観光

- ・相生～家島ラインが復活している
- ・観光、インバウンドができています
- ・水族館（テーマパーク）ができています

### 魅力創出

- ・農福・漁福・猟福連携ができています
- ・市内の食（食品）は市内で消費されている
- ・大型店舗やチェーン店が無い町となっている
- ・新たな特産ができています
- ・有名人が相生市からでている



## 10年後の姿を実現するためには

- ・多様な働き方が出来る環境

→ 実現できる教育と後押ししてくれる行政

## 《2班》

# キャッチコピー：眠らない街 Aioi

## —10年後の相生市—

### 雇用

- ・人材不足（パート・アルバイト含む）が解消されている
- ・元気に働け、子育てと両立できている

### 娯楽

- ・大型ショッピングモールができている
- ・カラオケBOXができている
- ・イベントが開催されている

### 貿易

- ・相生港から貿易ができている

### 観光

- ・海辺や古い街並みを活かした観光スポットができている
- ・バイカーが集まる街になっている
- ・宇宙旅行・ロケットができている
- ・相生の特産品ができそれを拡大できている
- ・カキ以外のB級グルメで集客できている

### ビジネス

- ・大企業が多数来ている
- ・若い経営者が増えて、産業が活性化している
- ・区画整理をして家を建てられる土地が増えている



## 10年後の姿を実現するためには

- ・子育てしやすい環境作り
- ・企業誘致

## 《3 班》

# 相生を楽しむ キャッチコピー： ～ゆりかごから墓場まで～

### — 10 年後の相生市 —

#### 教育

- ・塾のいない相生市になっている
- ・外国人により外国語レッスンができて  
いる

#### 交通

- ・新幹線のぞみが止まるようになって  
いる

#### 商業

- ・個人商店が元気になっている
- ・市外ではなく、市内でお店を開きた  
いと思う環境になっている
- ・Iターン・Uターンをしたい街にな  
っている
- ・「アレがあるから相生に行こう、行  
きたい」となっている
- ・人気店を期間限定で呼ぶことができ  
ている

#### 施設環境

- ・市民体育館に冷暖房が完備されて  
いる
- ・2号線沿いが活性化されている
- ・海沿いにサウナ施設ができてい  
る
- ・子供たちの遊び場が増えている
- ・スポーツ施設が整っている
- ・ドッグランを作って犬と人が住み  
やすい相生になっている
- ・イベントができる場所（箱）ができ  
ている

#### イベント

- ・スポーツイベントでの観光客が増加  
している
- ・若い人が集まるイベントのお店がで  
きている
- ・マルシェイベントが増えている
- ・フェスが開催されている



### 10 年後の姿を実現するためには

- ・市民が相生を好きになる
- ・魅力のある仕事

總論

基本構想

基本計画

第3次相生市地域創生総合戦略

資料編

## 6 その他

### (1) 地域創生総合戦略の目標値の説明

戦略目標			
施策名			
基本目標・KPI（重要業績評価指標）	説明	令和6 (基準値)	令和12 (目標値)

戦略目標1 子育て応援のまち相生			
合計特殊出生率	各年の合計特殊出生率	1.5	1.8
施策1 パパママ応援			
出生数	その年度における出生数	129人	153人
子育てアプリ登録者数	各年度末現在のAioiいくなびの累計登録者数	709人	1,244人
施策2 子どもたちの成長応援			
保育所の待機児童数	各年度4月1日現在の市内待機児童数	11人	0人
施策3 地域の子育て応援			
地域の子育て支援拠点利用者数	各年度の子育て学習センター利用者、事業参加者数、相談者の総数	7,828人	5,850人

戦略目標2 住みたい、帰りたいまち相生			
社会増減数	各年度の転入者数と転出者数の差	△37人	△28人
施策1 相生暮らしサポート			
移住・定住相談件数	各年度の各種移住・定住相談会における相談者総数	69件	77件
空き家バンクの物件登録件数	各年度末現在の空き家バンク登録件数	25件	43件
施策2 子どもたちの未来を創るあいおいの教育			
英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生	各年度の英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の生徒数	54.7%	60%
施策3 地域の子育て応援			
HP閲覧者数	各年度の相生市ホームページの閲覧者総数	662,708件	730,000件

※戦略目標1 「合計特殊出生率」は令和2年を基準年とする。

戦略目標			
施策名			
基本目標・KPI（重要業績評価指標）	説明	令和6 (基準値)	令和12 (目標値)

戦略目標3 働く人の希望が叶うまち相生			
市内事業所従業者数	各年度6月1日現在の市内事業所の従業者総数	12,157人	12,250人
施策1 魅力ある産業づくり			
新規創業者数	各年度の相生市内において各種支援策を受けて新規創業した者の数	21件 (累計)	32件 (累計)
支援策を受けて就職した人数	各年度の相生市在住者の各種支援策を受けて就職した者の数	5人 (累計)	15人 (累計)
施策2 農水産業の活性化			
新規就農者数	各年度の新規就農者数	3人 (累計)	5人 (累計)
農業産出額	各年度の「農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果」	4.2億円	4.2億円
施策3 地域資源を活用した観光振興			
観光客数	各年度の観光客数	548,337人	600,000人
市内宿泊施設利用者数※	各年度の市内宿泊施設での宿泊者数	107,606人	116,000人

戦略目標4 安全・安心で住み続けられるまち相生			
相生市に住み続けたいと思う人の割合	市民アンケートにおける、「相生市に住み続けたいと思う」と回答した人の割合	65.9%	71%
施策1 安全・安心に暮らせるまちづくり			
刑法犯認知件数	各年度における、相生市警察署管内の刑法犯罪の認知件数	121件	80件
災害に対する備えは十分であると思う人の割合	市民アンケートにおける、「災害に対する備えは十分であると思う」と回答した人の割合	40.1%	43%
施策2 健康長寿なまちづくり			
健康寿命	KDBシステムによる各年度末実績値	男 79.8歳 女 84.2歳	男 80.2歳 女 84.6歳
施策3 社会の変化に対応した暮らしやすいまちづくり			
相生市への移住のお勧め度：NPS	市民アンケートにおける、「本市への移住のおすすめ度」（0～10の11段階）を聴取しNPSを算出したもの	-73	-63

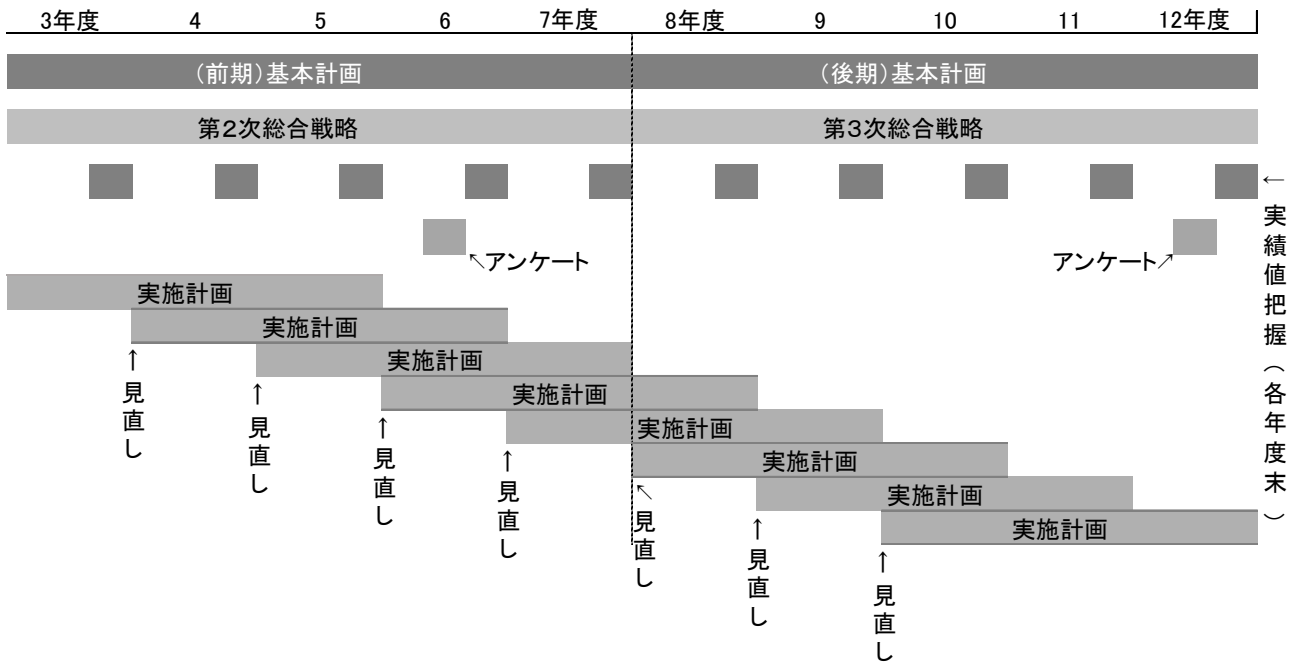
※戦略目標3 「市内事業所従業者数」は令和3年を基準年とする。施策2「農業産出額」は令和5年を基準年とする。

## (2) 総合計画とSDGsの関係

	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう
第1章 未来を担う人と文化を育むまち																	
第1節 輝く子どもを育むまちづくり																	
基本施策1-1-1 学びの環境の充実	●			●				●									●
基本施策1-1-2 知・徳・体の調和のとれた人材の育成		●		●	●				●								
第2節 誰もが楽しく学べるまちづくり																	
基本施策1-2-1 社会教育環境の充実				●	●				●	●							
第2章 安心して暮らせる、強くなかなまち																	
第1節 安全で安心なまちづくり																	
基本施策2-1-1 安心して暮らせるまちづくりの推進			●													●	●
基本施策2-1-2 防災力の強化											●		●				●
第3章 健やかな暮らしを守り支え合うまち																	
第1節 互いに支え合う福祉のまちづくり																	
基本施策3-1-1 地域福祉活動の充実	●	●	●						●	●							●
第2節 障害のある人が安心して暮らせるまちづくり																	
基本施策3-2-1 地域生活支援の充実			●	●				●		●	●						●
第3節 子育てしやすいまちづくり																	
基本施策3-3-1 子育て環境の充実	●		●		●			●		●						●	
基本施策3-3-2 子どもの健やかな発育の支援			●	●	●			●									●
第4節 健康に暮らせるまちづくり																	
基本施策3-4-1 地域医療の充実			●	●													●
基本施策3-4-2 健康づくりと予防対策の推進		●	●														
第5節 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり																	
基本施策3-5-1 日常生活支援の充実			●					●		●	●						●
基本施策3-5-2 地域包括ケアの推進			●							●	●						●
第4章 心地よい生活環境が保たれたまち																	
第1節 安定した市民生活が送れるまちづくり																	
基本施策4-1-1 安定した社会保障制度の推進			●							●							
第2節 活気のあるまちづくり																	
基本施策4-2-1 安心して生活できる環境の整備								●		●							●
基本施策4-2-2 市民の協働によるまちづくりの推進					●				●	●	●					●	●
基本施策4-2-3 まちのにぎわいの創出				●				●	●	●	●						●
基本施策4-2-4 地域資源を活かした観光の振興								●	●		●						●
第3節 環境にやさしいまち																	
基本施策4-3-1 豊かな自然環境の保全			●		●	●		●		●	●	●	●	●	●		●
基本施策4-3-2 環境衛生の保持					●	●		●		●	●						●
第5章 暮らしを支える都市機能の整ったまち																	
第1節 快適に暮らせるまちづくり																	
基本施策5-1-1 快適な都市機能の維持						●		●		●							
基本施策5-1-2 安心な住環境の保全										●			●				
基本施策5-1-3 港湾と河川の保全										●			●	●			●
第2節 地域生産力の向上を目指すまちづくり																	
基本施策5-2-1 農林水産業の持続的発展		●						●	●		●			●	●		
第6章 まちづくりを進める土台を強化する																	
第1節 安定した持続可能な行政経営																	
基本施策6-1-1 定住の促進と関係人口の拡大				●				●		●	●						●
基本施策6-1-2 社会の変化に対応する組織と体制の充実								●								●	●
基本施策6-1-3 安定した行政経営基盤の確立																●	

●：総合計画と関連のあるSDGsの項目

### (3) 進行管理スケジュール



総論

基本構想

基本計画

第3次相生市地域創生総合戦略

資料編

## (4) 用語集

### 【あ行】

#### ■ICT

Information and Communication Technology の略。情報通信技術を表し、日本では同義語として IT が使われている。IT にコミュニケーションの要素を加えたもの。

#### ■IT

Information Technology の略。コンピューターやインターネットを支える機械類やソフトウェアの技術などのこと。

#### ■医療圏域

都道府県が病床の整備を図るに当たり、設定する地域的単位。

#### ■インバウンド

外国人が訪れてくる旅行のこと。

#### ■AI

Artificial Intelligence の略。人間にしかできなかったような高度で知的な作業や判断を人工的なシステムにより行えるようにしたもの。

#### ■SDGs

Sustainable Development Goals の略。2015年9月に国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030（令和12）年を年限とする17の国際目標。

#### ■NPS

商品やサービスに対する信頼・愛着を測る指標。「あなたはこの商品・サービスをどの程度、友人や同僚に勧めますか？」というアンケート項目（質問）を投げかけ、0～10の11段階で答えてもらった結果を数値化して算出する。

#### ■NPO

Non-Profit-Organization の略。法人格をもった営利を目的とせず、公益的な市民活動を行う民間団体の総称。

#### ■温室効果ガス

二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）やメタン（CH<sub>4</sub>）など、太陽からの熱を通過させるが、地表から放射される熱を吸収して、熱を地球に封じ込める性質の大気中のガスのこと。

### 【か行】

#### ■かかりつけ医

家族なども含めて普段の健康管理や健康について気軽に相談できる、身近な診療所や医院の医師のこと。

#### ■関係人口

住民基本台帳に登録はされていないが相生市と何らかの関わりがある人の数。以前住んでいた、ふるさと納税制度を通じて寄付をしたなど、さまざまな形でその地域とのつながりをもつ人の総数。

#### ■幹線道路

都市において道路網を形成し、主要な地点を結ぶ根幹をなす道路。

#### ■教育振興基本計画

教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育行政・教育活動の基本的な方針、その他必要な事項を定める計画。

## ■行政評価

行政の活動を有効性、効率性、必要性、公平性などの観点から客観的に評価し、その評価結果を行政運営に反映させるための手法。

## ■グループホーム

日常生活に支援を要する人が、専門職員による援助を受けながら、少人数で共同生活する施設。

## ■K P I（重要業績評価指標）

Key Performance Indicator の略。目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のこと。

## ■合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が生涯に産むとしたときの子供の数に相当するもの。

## ■交流人口

通勤・通学者や観光客など、その地域を訪れる人の数。

## ■コミュニティ

地域社会、共同体、共同生活体という意味。快適で安全な生活環境のもとで、健康で文化的な生活を営むための近隣社会や近隣生活をいう。

### 【さ行】

## ■集落営農組織

集落を単位として、農業生産過程における全部または一部についての共同化・統一化に関する合意のもとに実施される生産活動を行う組織のこと。

## ■食育

様々な経験を通じて食に関する知識やバランスの良い食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる力を育むこと。

## ■水源かん養

森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能。

## ■スマートインターチェンジ

ETC搭載車専用で、高速道路の本線やSA・PA・バス停から乗り降りできる簡易型インターチェンジ。料金所が簡素で人件費が不要なため、低コストで導入可能。

## ■生活習慣病

食、運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群の総称。

## ■成年後見制度

判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度。

### 【た行】

## ■脱炭素社会

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を実質的にゼロにすることを目指す社会。

## ■多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、お互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

## ■地域共生社会

社会や生活の変化をふまえ、制度や分野を問わず、地域住民や地域の多様な主体が地域をともに

創っていく社会のこと。

### ■地域包括ケアシステム

重度な要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム。

### ■地球温暖化

大気中の二酸化炭素など温室効果ガスの濃度が上がり、熱が放出されない状態になり、気温が長期的に見て上昇すること。

### ■定住人口

その地域に住んでいる人の数。

### ■電子自治体

IT の活用により、業務の効率化を行ったり、住民の満足度の向上など行政サービスの利便性を高める地方自治体のこと。

### ■都市計画マスタープラン

都市づくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、個別具体の都市計画の指針として地区別の将来のあるべき姿をより具体的に明示し、地域における都市づくりの課題とこれに対応した整備などの方針を明らかにした、都市計画の基本的な方針を示すもの。

### ■トライやる・ウィーク

中学校2年生が一週間学校を離れて、地域や自然の中で主体的にさまざまな体験をすることにより、「共に生きる力」や「感謝の心」を育み、自律性を高めるなど、「生きる力」を育成すること。

### 【な行】

#### ■2次医療

特殊な医療を除く、入院治療を主体とした医療需要に対応する医療。

#### ■二地域居住

主な生活拠点とは別の特定の地域に生活拠点（ホテル等も含む）を設ける暮らし方。

### 【は行】

#### ■ホームヘルプサービス

訪問介護。日常生活に支障のある高齢者や障害のある人、及びその家族がサービスを必要とする場合に、家事的援助、身体介護などのサービスを行うこと。

### 【ま行】

#### ■みなとオアシス

歴史や文化など、魅力的な「みなと」の元来有する資源を人々が訪れやすいものとするために休憩スペース、トイレ及び駐車場を活用してサービスを提供できるみなとの施設や地区のこと。

#### ■めざそう値

各基本施策の達成度を計る指標。本計画においては、市民アンケートにおけるまちづくりに対する市民の満足度（回答に占める「そう思う」「ややそう思う」の割合）を基に目標値を設定。

### 【や行】

#### ■U I J ターン

Uターンは出身地に戻る、Iターンは出身地以外の地方へ移住する、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称。

## 【ら行】

### ■ライフスタイル

衣食住などの生活様式だけでなく、職業、社会との関わり方、趣味や生活に対する考え方や習慣までを含む広義の暮らし方、生き方のこと。

### ■ライフステージ

人の一生を幼児期、青年期、中年期、老年期に分けた、人生のそれぞれの段階のこと。

### ■レクリエーションスポーツ

子どもから高齢者まで、生涯を通じて誰もが楽しんでできるスポーツ。

### ■レセプト

患者が受けた診療について、医療機関が保険者に月単位で請求する請求書のこと。診療報酬請求明細書など。

### ■連携中枢都市圏

地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少、少子高齢化においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成すること。播磨圏域は中心市である姫路市を含めた8市8町により構成されている。

## 【わ行】

### ■ワーク・ライフ・バランス

一人ひとりが、やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。



---

第6次相生市総合計画（後期計画）

～ いのち輝き 絆ひろがる あいのまち ～

---

発行／令和8年3月

発行者／兵庫県相生市

〒678-8585 兵庫県相生市旭一丁目1番3号

編集／相生市企画総務部企画広報課企画係

---



相生市